

# 木知原の今昔！

41号:24・6・14

## 見分け

が難しい草花も、

いつぶく

●異常気象？今年は庭木の芽吹きが旺盛で樹形の乱れが目立つ。草花の分布もここ2~3年で大きな変化を見せていている。圃場整備後の農道法面も雑草類の変化が著しい。

・今一度身近な草花に目を向けてみましょう。

■点線を境に2種類の花を合わせた写真ですが見分けはなかなか難しいのでは？

花名、左「ハルジオン」右「ヒメジョオン」で5~6月は両花が咲くので見分けのチャンスです。

### ハルジオン

✿ 春(4~6月)に咲く紫苑

で春紫苑(ハルジオン)

●ヒメジョオンより少し大きく

花びらの数も多い。ツボミが下向きにつくのが特徴

●農道や荒地に繁茂

●北米原産:大正時代帰化



《ジオンとジョオン(表記注意)》

### ヒメジョオン

✿ 葉が柳のように細長く花が春紫苑よりやや小さいことから姫がついて姫女苑。

●鉄道に沿って広まったことから「鉄道草」。何処にでも咲くことから「貧乏草」とも。

●北米原産:江戸時代帰化



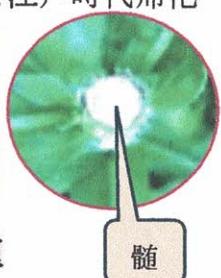
空洞

■見分けポイントで一番わかり易いのは茎の空洞の有無。

✿ ハルジオンの茎は中が空洞になっている。

是非一度

✿ ヒメジョオンの茎は中に白い髓が詰まっている。



髓

## よく見かけるようになった草花2種

■草花の名も“スマホで一発”の時代である。ガラ系の“乗り遅れ者”で昔ながらの図鑑検索で四苦八苦しているがその過程で思わぬ情報に触れられるのも一興とやせ我慢で挑戦中…。

Q 身近で下記の2花をよく見かけるようになったと思いませんか？

### マツバウンラン



ウンラン

### キキョウソウ



桔梗

✿葉が松の葉・花がウンラン(海欄・海辺に咲く花)に似ていることからの名。

●花から結実までの期間が短いので繁殖力が強い。

■葉に下剤効果あるが食えないほうがよい。

✿花が桔梗に似ていることからの名。

●花が閉じていても受粉出来るので左花同様に繁殖力が強い。

■皮膚炎を起こす有毒な物質が含まれてい

✿2花とも1940年代に発見された北米からの帰化花。

●数年前まではゲートボール場辺りにまばらに咲いていたが最近は畠や土手等至る所に群生するようになった。

●私事:3年前にキキョウソウを“枯れて元々”と2本を庭隅に移植したところ今年は「なんじやこりや！」と思うほど増えてビックリであるが可愛い!!

●両花とも派手さは無いが一本でも魅力を感じる。ところが繁殖力が強いことから図鑑等では「雑草」に分類されている。

♥チト可哀そう？